

阪大特集号を編集して

編集にあたっては、研究室の活動状況を重点をおきました。研究室紹介は阪大における物性研究室オンパレードといったところですが、物性関係の研究室は一応網羅したつもりですが、ただ残念ながら、半導体の光学的性質を研究されている基礎工の成田研究室の紹介をのせることはできませんでした。研究室の紹介にあたっては、形式はきめないで、研究室のメンバー、研究の内容等を自由に書いていただきました。読んでいただく内に阪大における、物性研究の特徴がわかつていただけるものと思います。

永宮教授のお話しにもありましたように、阪大における物性研究は一応順調な道を歩んでまいりましたけれど、近年にいたり基礎工学部の増設や、理学部にも多くの新しい研究室の発足があり、今大きな転機にさしかかっています。いわば、この新しい発展のための出発点ともいう時期に、阪大特集号がでますことは意味あることだと思います。

色々忌憚のない御意見、御批判をたまわれれば幸いに思います。最後に、心よく原稿を書いて下さった皆様に感謝いたします。

(立 木 昌)